

水圏生物学専攻 博士後期課程（一般選抜、社会人特別選抜） 入試案内

この入試案内は、令和7(2025)年度東京大学大学院農学生命科学研究科博士後期課程学生募集要項を補足するものである。

水圏生物学専攻博士後期課程一般選抜及び社会人特別選抜はB日程のみ実施する。

<B 日程>

1. 出願期間

令和6(2024)年11月21日(木)10時から11月27日(水)17時

出願にあたっては、募集要項を熟読すること。

2. 筆記試験

(1) 外国語（英語）

TOEFL-iBT または TOEFL-iBT Home Edition の公式スコアを提出すること。

提出方法は、募集要項「7. 筆記試験（外国語）について」を参照のこと。

(2) 専門科目

水圏生物学に関する小論文を課す。

試験はオンラインによる筆記形式（日英併記で出題）で行う。

3. 口述試験

試験はオンラインで実施する。

4. 試験期日

令和7(2025)年1月30日(木)～2月7日(金)に実施する。

試験日時その他の詳細は、令和7(2025)年1月上旬にメールで送付する受験者心得で通知する。

5. 提出書類

提出書類は、募集要項「10. 提出書類」に従い、ア～シを提出すること。

6. 10月入学

本専攻は10月入学を実施しない。

7. その他

(1) 次表に基づいて必要な外国語及び専門科目を選択すること。一般選抜・社会人特別選抜共通。

ただし、社会人特別選抜者についてはこれに加えて、入学後の研究計画書(A4、3,000～4,000

字程度)を全員提出し、合否の参考にする。

出願資格者		第1次試験		第2次試験	
		外国語 (英語)	専門科目	論文提出	口述試験・面接
A	本専攻修士課程在学中で2025年3月31日までに修士の学位を得る見込みの者	免除	免除	専攻の修士論文審査用の提出をもって提出とする	実施(ただし口述試験は、専攻の修士論文審査会をもってこれに代える場合がある。)
B	本専攻で修士の学位を2年以内に得た者	免除	免除	要旨1部提出(修士学位論文の提出は不要)	免除
C	本専攻で修士の学位を得た者のうちB以外の者	免除	免除	修士学位論文又はこれに代わるものを1部、要旨を1部、それぞれ提出	実施
D	本研究科の水圏生物学専攻以外の専攻で2025年3月31日までに修士の学位を得る見込みの者又は得たもの	免除	免除	修士学位論文又はこれに代わるものを1部、要旨を1部、それぞれ提出	実施
E	東京大学大学院で2025年3月31日までに修士の学位又は専門職学位を得る見込みの者又は得た者のうちA、B、C、D以外の者	免除	実施	修士学位論文又はこれに代わるものを1部、要旨を1部、それぞれ提出	実施
F	A、B、C、D、E以外の出願資格者	実施 (TOEFL スコア)	実施	修士学位論文又はこれに代わるものを1部、要旨を1部、それぞれ提出	実施

(2) Web 出願システム入力の際の注意事項

- ①指定された欄をすべて入力すること。未入力の欄がある場合は、出願書類不備として取り扱う。
- ②志望専門分野及び志望指導教員欄は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を参照のうえ専門分野と教員名を入力すること。

なお、異動等に伴い教員名等の記載事項に変更が生じた場合は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を更新するので、出願前に最新版を確認すること。

- ③試験科目欄に選択する科目名を必ず入力すること。
 - ④履歴事項は修士課程修了(見込み)までを入力すること。また、社会人特別選抜出願者は職歴を入力すること。
 - ⑤学歴について、飛び級等の学歴がある場合または日本以外の国での教育歴がある場合は出願前に入力方法を農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）へ問い合わせること。
- (3) 研究テーマのマッチング等を確認するために、出願前に余裕を持って志望指導教員へ連絡を取ること。
 - (4) 過去問題は、本研究科学生サービスセンターにて閲覧することができる。
 - (5) 本専攻の入学試験に関する不明な点は、志望指導教員もしくは水圏生物科学専攻（募集要項「各専攻のお問い合わせ先」参照）まで、余裕を持って問合せること。
 - (6) 本研究科入学試験については、募集要項及び本入試案内を熟読すること。出願にあたり不明な点は、予め農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）まで、余裕を持って問い合わせること。